

重点項目についての環境配慮概要						内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。							
“ストップ温暖化しずおか行動計画”の推進(Gloval Warming)							
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数	Q-1	2	2.1	2.1.3	①	外皮性能
	②ハイサイドライトを設置している	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
	③庇によりグレアを制御している			3.2	3.2.2	③	昼光制御
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
				2.2.2		④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
			2.2.3		④	配管・配線材の更新必要間隔	
			2.2.4		④	主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出
	⑤敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)	LR-1	1			⑦	建物の熱負荷抑制
	⑧ハイサイドライトを設置している		2	2.1		⑧	自然エネルギー直接利用
	⑧太陽光発電設備を設置している			2.2		⑧	自然エネルギー変換利用
	⑨ERR=31.1%である		3			⑨	設備システムの高効率化
			4	4.1		⑩	モニタリング
				4.2		⑩	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材)	LR-2	1	1.1		⑪	節水
	⑪自動水栓を採用している			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム
	⑫躯体+軽鉄+仕上材を採用している				1.2.2	⑪	雑排水利用システム
			2	2.1	2.1.1	⑫	躯体材料の再利用効率
				2.1.2		⑫	非構造材料の再利用効率
				2.2		⑫	持続可能な森林から産出された木材
				2.3		⑫	有害物質を含まない材料
				2.4		⑫	既存建築躯体などの再利用
				2.5		⑫	部材の再利用可能性
			2.6	2.6.1		⑫	消火剤
				2.6.2		⑫	断熱材
				2.6.3		⑫	冷媒
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)	LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善
	⑬設備システムの高効率化をしている						
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)							
	■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性)	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭	耐震性
	⑭地域係数Z=1.2、用途係数=1.25				2.1.2	⑭	免震・制振性能
	⑮節水型器具を採用している			2.4	2.4.1	⑮	空調・換気設備
	⑮電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている			2.4.2		⑮	給排水・衛生設備
	⑮通信手段の多様化をしている、精密機械の地下空間への設置を避けている			2.4.3		⑮	電気設備
				2.4.4		⑮	機械・配管支持方法
				2.4.5		⑮	通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)							
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり)	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑰⑱	ユニバーサルデザイン計画
	⑯階高3.7m以上である		3	3.1	3.1.1	⑱	階高のゆとり
	⑯壁長さ比率0.3未満である				3.1.2	⑱	空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上
	⑲建物内外を連関させる豊かな中間領域として、テラスを設けている						
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)							
	■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑳	生物環境保全と創出
	㉑敷地や建物の植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている		2			㉑	まちなみ景観への配慮
	㉒緑地を設けることにより、良好な景観を形成している		3	3.2		⑳	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (㉓温熱環境悪化の改善)	LR-3	5			㉓	温熱環境悪化の改善
	㉓設備システムの高効率化をしている						